

(4) 結果の分析と指導の改善

設問 「設問内容」

【選択肢：県調査の小中の割合】[過去の調査との比較 割合増% 割合減%]
・小学校...県調査の割合(%) (全国調査 公立 割合%) ・中学校...

* 全国調査の値は「平成22年度
全国学力・学習状況調査 公立
学校の結果(文部科学省公表
資料)」による。

ア 自分自身や自分の行動に対する意識について

設問1 「自分には、よいところがあると思いますか。」

【そう思う・どちらかという、そう思う：74.0%】
・小...78.8(全国...74.4)・中...69.1(全国...63.1)

設問2 「将来の夢や目標をもっていますか。」

【もっている・どちらかといえば、もっている：84.8%】
・小...91.0(86.8) ・中...78.5(71.7)

設問3 「学校のきまりを守っていますか。」

【守っている・どちらかといえば、守っている：89.8%】
・小...89.0(89.2) ・中...90.5(90.1)

設問4 「人が困っているときは、進んで助けていますか。」

【助けている・どちらかといえば、助けている：84.7%】
・小...87.2(79.6) ・中...82.1(74.3)

設問5 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」

【そう思う・どちらかという、そう思う：95.2%】
・小...97.4(95.0) ・中...92.9(91.1)

* 県調査は、小学5年生及び中学2年生を対象としているが、全国調査は小学6年生及び中学3年生を対象としている点に留意する。

「自分のよさに気付いている」「将来の夢や目標をもっている」児童生徒の割合は、全国調査の平均を上回っている。各学校において、一人一人のよさや思いを大切にしたい取組が進められていることの表れだととらえることができる。また、本項目と学力との相関がみられ(111、112頁)、今後も、自他のよさ、将来の夢や目標を大切にしたい教育活動を充実させていきたい。

規範意識については、全国調査の平均と同程度である。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と思っている児童生徒は小学校で97%、中学校93%程度であるが、どの子もいじめを許さない強い思いをもって正しく行動することができるように継続的に指導することが大切である。

イ 学校、家庭、地域における生活について

設問6 「朝食を毎日食べていますか。」

【毎日食べている：87.9%】 [H19比 6.8]
・小...91.2(89.0) ・中...84.6(83.5)

設問7 「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか。」

【確かめている・どちらかといえば、確かめている：87.9%】
・小...88.3(87.1) ・中...87.4(84.5)

設問8 「ふだん(月曜日から金曜日) どれくらいの時刻に寝ていますか。」

【・小...11時以降：8.9%(16.1)】
【・中...12時以降：14.8%(27.7)】

「朝食を毎日食べている」児童生徒の割合は、平成19年度調査より7%程度増えており、望ましい食生活について家庭と連携して取り組んでいることの成果が表れている。

9割近く児童生徒が学習の準備をしっかりと行うことができている。深夜まで起きている児童生徒については、個別に状況を把握し、健康的な生活をおくることができるように指導する必要がある。

設問9 「家の手伝いをしていますか。」

【よくしている・ときどきしている：75.5%】
・小...83.1(80.2) ・中...67.8(64.8)

設問10 「家の人と、.....一緒に話をすることはありますか。」

【よくある・ときどきある：80.1%】 [H20比 1.4]
・小...81.9 ・中...78.2

設問11 「.....、家の人から注意されることがありますか。」

【よくある・ときどきある：85.5%】 [H20比 6.3]
・小...82.3 ・中...88.7

設問12 「...、家の人からほめられたり、はげめされたりすることがありますか。」

【よくある・ときどきある：82.0%】 [H20比 6.0]
・小...84.9 ・中...79.0

設問13 「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」

【よく参加している・ときどき参加している：78.5%】
・小...85.5(61.6) ・中...71.4(34.3)

「家の手伝いをしている」児童生徒の割合は、全国調査の平均を上回っている。また、家の人とのかかわりについて「一緒に話をする」「やってはいけないことをしてしまったときなどに注意される」「がんばっているときなどにほめられたり、はげめされたりする」児童生徒の割合は、前回調査より増加している。家庭において子どもとのコミュニケーションが大切にされてきているといえる。

地域の行事への参加については、全国平均を大きく上回っており、地域とのかかわりが大切にされている。

今後も、学校、家庭、地域が連携して、社会全体で子どもを育むコミュニティづくりを進めていきたい。

ウ 学習に対する意識等について

設問14「勉強は好きですか。」

【好き・どちらかというとか好き：46.3%】[H20比 7.2]

設問15「勉強は大切だと思いますか。」

【そう思う・どちらかというとかそう思う：92.1%】[H20比 0.3]

設問16「自分から進んで勉強しようとする気持ちはありますか。」

【ある・どちらかというとかある：73.0%】[H20比 1.9]

設問17「学校の授業がどの程度わかりますか。」

【よくわかる・だいたいわかる：86.2%】[H20比 20.2]

エ 学校や家庭における学習習慣・学習姿勢について

設問21「自分で計画を立てて勉強をしていますか。」

【している・どちらかといえば、している：62.0%】
・小...72.6(58.3) ・中...51.4(41.8)

設問22「家で学校の授業の予習をしていますか。」

【している・どちらかといえば、している：50.2%】
・小...49.0(40.4) ・中...51.4(30.9)

設問23「家で学校の授業の復習をしていますか。」

【している・どちらかといえば、している：63.1%】
・小...60.6(49.6) ・中...65.5(43.5)

設問24「授業やテストで間違えた問題やよくわからなかった問題を、後で勉強していますか。」

【している・どちらかといえば、している：62.9%】
・小...65.3(51.8) ・中...60.5(39.7)

設問25「授業で、友達の考えをよく聞いたり、自分の考えをよく発表したりしていますか。」

【している・どちらかといえば、している：72.8%】
・小...74.5 ・中...71.1

設問26「授業で、自分の考えや学級の友達の考え、学習した内容などをわかりやすくノートに書いていますか。」

【している・どちらかといえば、している：82.3%】
・小...79.7 ・中...84.9

設問18「学校の授業以外に、ふだん(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか。」

【2時間以上：24.7%】 [H20比 9.9]
・小...19.7(25.7) ・中...29.6(35.7)
【30分より少ない、全くしない：13.9%】 [H20比 1.2]
・小...11.2(15.2) ・中...16.6(16.9)

設問19「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか。」

【全くしない：8.0%】
・小...6.8(11.2) ・中...9.2(13.6)

設問20「家や図書館で、ふだん(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしていますか。」

【1時間以上：21.8%】
・小...19.9(16.3) ・中...23.7(12.8)
【10分より少ない、全くしない：34.1%】
・小...31.1(37.5) ・中...37.0(51.0)

「勉強が好き」な児童生徒の割合は、平成16年度調査より上昇傾向にある。「授業がわかる」児童生徒の割合は、前回調査より大きく上昇している。誰もが「わかる・できる」授業を実践している成果であるといえる。今回調査時期が4月(前回までは1月)に変更されたことも、値の上昇に影響したと考えられ、年間を通して、児童生徒自身が「わかった・できた」と実感できる授業を積み重ねていく必要がある。

一方で「勉強は大切だと思う」「自分から進んで勉強しようとする気持ちをもっている」児童生徒の割合は、前回調査を下回っており、主体的に学び、学ぶ意義を感じ取ることができるようにすることが課題となっている。

「計画を立てて学習する」「予習をする」「復習をする」「間違えた問題などを後で勉強する」児童生徒の割合は、全国調査の平均を上回っており、確かな学習習慣が身に付いているといえる。

このような学習習慣と学力との間には強い相関関係がある。(131から134頁参照)今後、予習や復習の仕方などについて指導し、家庭学習の内容の充実を図っていきたい。

また、授業で話したり書いたりする活動に積極的に取り組む児童生徒の学力は高い傾向にある(135、136頁)ことを踏まえ、授業における言語活動の充実を図っていく必要がある。

学校の授業以外の学習時間については、「ふだん(月～金曜日)、1日当たり2時間以上学習をしている」児童生徒の割合は、前回調査より増えているものの、全国平均を下回っている。

児童生徒が家庭でじっくりと学習に取り組む、確かな学力を身に付けていくことができるように、児童生徒への指導や家庭への働きかけを工夫していく必要がある。

1日当たりの読書量は全国平均を大きく上回っており、本に親しむ指導が充実しているといえる。